

昨今の抗がん剤治療について

現在日本人の二人に一人が一生涯のうちのがんになると言われています。現代社会において、がんは決して珍しい病気ではなくなっています。当院においても、外来通院治療センターが開設され、毎日多くの患者さんが、がんの治療のため通院されています。

昨今の抗がん剤治療は、非常に多様化、複雑化しており、3つもしくは4つの抗がん剤を組み合わせる治療も行われています。抗がん剤の種類が増えるほど、副作用も多様化、複雑化しています。一昔前は、抗がん剤の副作用と言うと、吐き気などが代表的でしたが、今は薬の改良が進み、吐き気はコントロールできることが多くなりました。また、アピアランスケアと呼ばれる、脱毛や皮膚障害など外見の変化に起因する身体・心理・社会的な困難に直面している患者さんとそのご家族に行う医療者の対応が重要視されています。がん治療を受けながらも、患者さんが自分らしく、快適に過ごせるよう支援しています。

さらに、その複雑化する副作用ですが、当院では医師だけでなく、様々な医療スタッフが関わり、早期発見・早期対応をできるよう努めています。血液検査などの各種検査結果以外にもわずかな症状の訴えから、副作用の早期発見に繋がることもあります。気になる症状があったときは、医師以外の医療スタッフにも、遠慮なくご相談ください。

ところで、現在の抗がん剤治療は、医療費が非常に高額化しているため、一定の金額（自己負担額）を超えた分が払い戻される、高額療養費制度を利用した方が多い場合が多くなっています。事前に高額になることが分かっている場合、限度額認定証を受けて、医療機関に掲示することで、窓口支払いの負担を軽減できます。高額療養費制度についての相談は、当院では10番窓口もしくは地域医療連携室で対応しています。マイナンバーカードをお持ちの方は、通常は市役所で行う申請手続きを当院窓口で行うことが可能です。

最後になりますが、当院では、医師や看護師、薬剤師だけでなく、さまざまなスタッフが抗がん剤治療を受ける患者さんにチーム医療として携わっています。初めて抗がん剤治療を受けるとなると、不安なことも多いと思われます。抗がん剤治療を受ける前の説明だけでなく、治療中、治療後にご不明な点やご質問がございましたら、どんな些細なことでも、遠慮なくお気軽にご相談ください。

【薬剤師 山崎 成基】

